

教科等	授業改善の視点	児童の学習状況	改善の計画と評価の方法
国語	①国語の言語事項・漢字の定着【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いることによる語彙の拡張【ICT 機器の活用】	①国語の言語事項・漢字のテストの学年平均が60点未満である。 ②アンケート項目「授業は分かりやすい」に対して「とてもそう思う」と回答をした児童が60%程度である。	①漢字・言語の練習用プリントを作成し、授業で練習をする時間を確保するとともに、自主学習でも取り組むことを推奨する。漢字・言語のテストの学級平均が60点以上になることを目指す。 ②端末上の教材を作成・配布し、児童の意欲を引き出すとともに、取り組んだ結果を共有することで、語彙を広げる。「授業は分かりやすい」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。
社会	①資料から読み取ったことを説明する力の育成【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を活用した資料の配布と読み取ったことの共有【ICT 機器の活用】	①社会科の思考・判断・表現の正答率が60%に満たない児童が20%程度いる。 ②アンケート項目「授業は分かりやすい」に対して否定的な回答が10%程度いる。	①資料をもとに、「何があるか」に加えて「そこから何が言えるか」を考え伝え合う活動を取り入れる。社会科の思考・判断・表現の正答率が60%に満たない児童が10%以下になることを目指す。 ②学習支援アプリ上で資料を作成・配布し、児童の意欲を引き出すとともに、取り組んだ結果を共有することで、読み取りが難しい児童を支援する。「授業は分かりやすい」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。
算数	①算数の基礎的・基本的な学習内容の定着【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いた問題場面の把握【ICT 機器の活用】	①算数の既習事項が定着せず、それを活用した思考・判断・表現の正答率が70%に満たない児童が10%程度いる。 ②アンケート項目「授業は分かりやすい」に対して否定的な回答が7%程度いる。	①苦手な児童の多い習熟度コースにおいては、既習の内容を毎時間確認する時間を確保してから現在の学習に入る。算数の思考・判断・表現の得点が70%未満の児童が全体の3%以下になることを目指す。 ②問題場面をICT 機器を活用して提示し、児童が把握して自力解決に取り組むようにさせる。「授業は分かりやすい」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。
理科	①問題解決の過程を通して、理科学的な資質・能力の習得【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実【ICT 機器の活用】	①観察や実験には意欲的に取り組むが、思考・判断・表現の正答率が70%に満たない児童が15%程度いる。予想や、実験から分かったことを自分の言葉で表現することが課題である。 ②「授業中、集中して取り組んでいる」のアンケートに否定的な回答が7%程度いる。	①自分の考えをもち、表現する活動、それを共有する活動の充実を図る。また、一斉指導時に、自己の考えを分かりやすく表現できた児童を意図的に指名し、表現のよさを価値付ける。思考・判断・表現の正答率が70%に満たない児童が5%以下になることを目指す。 ②学習支援アプリを更に活用し、予想や考察を共有して対話していき、それによって主体的に学習に取り組めるようにする。「授業中、集中して取り組んでいる」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。
音楽	①学ぶ楽しさを実感させる授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②興味・関心を高め、理解を深めるためのICT 機器の活用【ICT 機器の活用】	①アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童が91%で、そのうち「とてもそう思う」の回答をした児童は2年生時より3ポイント改善している。そのことから、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ②アンケート項目「授業は分かりやすい」に対して「あまりそう思わない」の回答をした児童が1%いるが、昨年度より5ポイント改善している。学習支援用のアプリや動画を使用し、視覚的・聴覚的に理解を深める工夫が必要と考える。器楽の技能の習熟に関して、一人ひとりの学習過程に応じた支援の充実が必要であると考えられる。	①感覚統合が促進されるような常時活動や、体を動かす活動を取り入れ、児童に選択させたり、可能な範囲で児童に任せたりして主体的に活動できるようにする。 ②実態に即した教材を選ぶことで学習意欲を喚起し、ICT を活用して、感覚的な課題も視覚的に理解を深めることができ、モチベーションを持続させて学習に取り組むことができるようにする。また、鑑賞で感じ取ったことを伝える手段は、学習者用端末のアプリを含め、絵や色、図形楽譜などを認めるなど、児童の得意な方法で表現できるようにする。

<p>図画 工作</p>	<p>①学ぶ楽しさを実感させる授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②振り返り活動、相互鑑賞の充実【ICT 機器の活用】</p>	<p>①アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童が 95%であり、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ②製作活動中や製作後に互いの作品を鑑賞し合い、よさを見つけたり自分の表現に生かしたりすることについて、まだ成長できる部分があると考ええる。</p>	<p>①紙版画や木材へのくぎ打ちなど、表し方や材料・用具についての経験を充実させ、主体的に活動できるようにする。 ②学習者用端末を使用して作品の共有を行い、学びを深めていけるようにする。単元末の児童の振り返りなどから授業者の授業改善を振り返る。</p>
<p>体育</p>	<p>①体育の授業・運動に積極的・主体的に取り組む態度の育成【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いた自分の運動の様子の把握・改善と課題設定【ICT 機器の活用】</p>	<p>①アンケート項目「授業にすすんで取り組んでいる」に対して否定的な回答が 5%程度いる。 ②アンケート項目「発言や質問をしっかりと聞き、ていねいに教えてくれる」に対して否定的な回答が 5%程度いる。</p>	<p>①運動が苦手な児童も意欲をもって取り組めるために、単元のはじめに、主運動につながる予備運動を行ったり、練習と小グループの中での教え合いをしたりして個人内の技能の向上を実感させる。「授業にすすんで取り組んでいる」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。 ②学習者用端末上で資料を作成・配布し、視覚的に基本的な動きや技能を確認できるようにする。また、運動の様子を動画で撮影したものを見ながら自分の動作とお手本の動きを比較したり、友達と互いに助言し合ったりする時間を設ける。「発言や質問をしっかりと聞き、ていねいに教えてくれる」のアンケートで全員が肯定的な回答になることを目指す。</p>
<p>外国語 活動</p>	<p>①学ぶ楽しさを実感させる、音声でのやり取り中心の授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用【ICT 機器の活用】</p>	<p>①アンケート項目「すすんで学習している」に対して肯定的な回答をした児童が 96%であり、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ②アンケート項目「集中して取り組んでいる」に対して肯定的な回答をした児童は 92%である。残りの 8%の児童の集中を切らすことなく、最後まで参加させることが課題である。</p>	<p>①互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して、実際に自分のことを伝え、相手のことを知るという体験をさせ、外国語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感させる。 ②児童の理解促進のための言語外情報の視覚教材として ICT で絵や写真を提示する。また、ICT を活用し、動画教材を使うことで児童が集中して言語材料に慣れ親しみ続けられるようにする。</p>
<p>道徳</p>	<p>①「考え議論する道徳」授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②ICT 機器を用いた教材内容の提示【ICT 機器の活用】</p>	<p>①ねらいとする道徳的価値について自分の考えをもち、ペアや全体の交流で話し合いを広げたり深めたりしていくことが課題である。 ②教材の内容や場面を 1 回の提示で把握できるよう、導入を工夫したり教材文を分かりやすく提示したりする必要がある。</p>	<p>①ねらいとする道徳的価値について、児童が自分ごととして考えられるよう、児童の実態を把握した上で、発問や補助発問を吟味する。 ②デジタル教科書やデジタル資料を用いて、導入や教材提示の仕方を工夫することにより、教材の内容を理解したり場面や様子を把握したりすることができるようにする。</p>